

ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

薬剤名	系統区分	作用 機 構 分 類 コ ー ド	人 畜 毒 性	使 用 時 期 (日 数)	使 用 回 数	べ と 病	灰 か び 病	う どん こ 病	菌 核 病	軟 腐 病	ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ア ザ ミ リ バ エ 類	ハ モ グ リ バ エ 類	フ キ ノ メ イ ガ	オ オ タ バ コ ガ	ネ コ ブ セ ン チ ュ ウ
バイオキパー水	生物農薬	-		*d	-					◎							
マスタピース水	生物農薬	-		1	-					◎							
Zボルドー水	無機	M1		-	-					◎							
ハツパ乳	他	NC		-	-			◎									
アミスター20FL	Q o I	11		1	4			◎									
ストロビーFL	Q o I	11		1	3			◎									
アフエットFL	アミド	7		1	3			◎									
ロブラール水	ジカボキシイト [®]	2		1	4		◎										
トップジンM水	ベンゾイミダゾール	1		1	3			◎									
ベンレート水	ベンゾイミダゾール	1		1	3				◎								
サンヨール乳	有機銅	M1		1	4			◎									
ヨネポン乳	有機銅	M1		1	4	◎											
ダコニール1000FL	他	M5		1	3			◎									
ランマンFL	他	21		1	4	◎											
パンチョT F 顆水	アミド・DMI	U6・3		1	2			◎									
ゲッター水	ベンゾイミダゾール・ ベンゾイミダゾール	10・1		7	3		◎										
スピノエース顆水	スピノシン	5		1	3								◎				
カスケード乳	I GR	15		1	4									ト			
ネマトリンエース粒	殺線虫	1B		*b	1												◎
モベントFL	殺ダニ	23		1	3						◎	◎					
ブレバゾンFL5	ジアイト [®]	28		1	3									◎			
アルバリン顆溶 スタークル顆溶	ネコチノイト [®]	4A		1	2						◎						
アルバリン粒 スタークル粒	ネコチノイト [®]	4A		*a *c	1 1						◎ ◎	◎					
ベストガード粒	ネコチノイト [®]	4A		*a	1								◎				
アディオン乳	ピレスロイト [®]	3A		7	3						◎				◎		
アフーム乳	マクロライト [®]	6		3	2												◎
ウララDF	他	29		1	2						◎						
チェス顆水	他	9B		1	2						◎						

*a:定植時 *b:定植前 *c:生育期(但し収穫開始14日前まで) *d:発病前～発病初期
ト:トマトハモグリバエ

ズッキーニ

ズッキーニ(野菜類の登録農薬も使用できる)

病害虫名	防除時期	防除方法	参考事項
べと病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを散布する。 ドイツボルドーA(水)＊ 500～1000倍 Zボルドー(水)＊ 500倍 	＊野菜類での登録。薬害回避のため試し掛けする。
うどんこ病	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生が認められたら次の薬剤のいずれかを散布する。 アミスター20フロアブル● 2000倍 イオウフロアブル＊ 500～1000倍 ダコニール1000(FL) 1000倍 トップジンM水和剤● 1500倍 パンチョT F顆粒水和剤● 4000倍 	<ul style="list-style-type: none"> ●耐性菌を生じるおそれがあるので連用しない。 ＊野菜類での登録。薬害回避のため試し掛けする。
モザイク病		<ul style="list-style-type: none"> アブラムシ類を防除する(アブラムシ類の項参照)。 	
アブラムシ類	定植時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤のいずれかを植穴に土壌混和する。 アルバリン粒剤 2 g/株 スタークル粒剤 2 g/株 	
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 	
タバココナジラミ類	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 モベントフロアブル# 2000倍 	#コナジラミ類での登録
アザミウマ類	定植時	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を植穴に土壌混和する。 ベストガード粒剤 1～2 g/株 	
	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 スピノエース顆粒水和剤 5000～10000倍 	
フキノメイガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 アディオン乳剤 2000～3000倍 	
オオタバコガ	生育期	<ul style="list-style-type: none"> 発生を見たら次の薬剤を散布する。 アフーム乳剤 2000倍 	
ネコブセンチュウ	定植前	<ul style="list-style-type: none"> 次の薬剤を全面施用して土壌混和する。 ネマトリンエース粒剤 20kg/10 a 	